

# 学校法人獨協学園の平成20年度決算と21年度予算について

## 1. 平成20年度事業報告概要と決算について

### (1) 事業報告概要

獨協学園は、3大学・2中学・高等学校・1専門学校から構成され、人文科学・社会科学・自然科学の分野において、それぞれ特化し専門化した領域を有している総合的な学園です。

また「各学校の自主性、独自性を尊重しつつ、一つの法人として整合性を持って経営する」との経営方針のもと運営されています。

学園は、教育・研究・医療の充実を組織的に推進するため、平成10年に中長期にわたる基本計画を策定し、以降2年毎に見直しを実施してきました。

昨年、私立学校を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中において、時代的、社会的ニーズに応じ、それぞれの自主性を活かしながら、特色ある学校経営を更に進めるため、平成21年3月、基本計画(第5次見直し)を策定しました。

こうした状況のもと、平成20年度は、学部再編、新学科の設置、教育・研究・医療などの施設設備の整備等に取り組みました。

平成20年度の各学校等の主要事業の概要は次のとおりです。

獨協大学は、地方分権が進む中、環境・福祉・人権を基盤としグローバルな視点をもつ人材育成のため、法学部総合政策学科を設置するとともに「さくら橋総合教育施設」等の工事に着手しました。

獨協医科大学は、地域拠点病院として充実を図るため、前年に引き続き大学病院本館の外來棟リフォーム工事、越谷病院のオーダーリングシステムを構築し診療体制を整備しました。

姫路獨協大学は、多文化共生の実践教育による人材育成を目的とした外国語学部並びに経済情報学部の改組を実施し、それぞれ新学部としてスタートしました。

獨協中学・高等学校は、従来より取組んできた環境教育を更に充実させたことに加え、学校評価の向上を図るため中長期ビジョンを策定し諸施策を実行しました。

獨協埼玉高等学校は、獨協コースの設置等生徒の進路に応じたカリキュラムの改正を実施するとともに校舎の耐震補強工事を行いました。

学園本部としては、学校の社会的説明責任を履行するため、平成18年度に理事長の下に設置した内部監査室が、各学校との連携の下に業務改善とリスクアプローチの観点から監査を進めてきました。

なお、内部監査室は、共通項目・個別項目・フォローアップ等について監査計画を策定し、監査を実施しました。

### (2) 消費収支(表1 図表1)

帰属収入は予算801億55百万円に対し、決算800億63百万円で92百万円下回りました。主要項目では医療収入6億90百万円、補助金49百万円の予算比減少に対し、学生生徒納付金は68百万円、手数料が予算比129百万円増加しました。

一方、消費支出は予算805億48百万円に対し決算798億38百万円と7億9百万円予算対比減少となりました。

主要項目では、人件費で予算比4億85百万円減少し、教育研究経費では6億23百万円の減少となりました。医療経費は1億20百万円の予算比増加となり、管理経費は6億53百万円の予算比増加となりました。

なお、医療収入と医療経費の前年度実績対比では、医療収入で約21億円増加の一方、医療経費を約4億円の増加に抑え医療収支は改善しました。

この結果、消費収支差額は予算約56億83百万円の支出超過に対し、決算46億15百万円と10億67百万円好転しました。帰属収支差額は決算では2億25百万円の黒字となり、予算3億93百万円の赤字を6億18百万円上回ることができました。帰属収支差額の帰属収入に対する比率は0.28%となりました。

### 平成20年度消費収支計算書

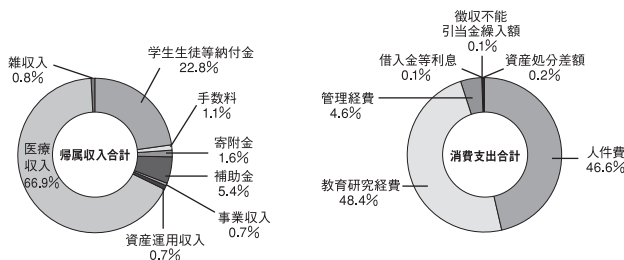
(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(表1)

(単位:千円 端数未調整)

収入の部				支出の部					
科目	予算額	決算額	差異	構成比	科目	予算額	決算額	差異	構成比
学生生徒等納付金	18,182,559	18,250,630	△ 68,071	22.8	人件費	37,713,826	37,228,102	485,724	46.6
手数料	716,974	845,987	△ 129,013	1.1	教育研究経費	39,266,875	38,643,293	623,582	48.4
寄附金	1,274,370	1,281,716	△ 7,346	1.6	医療経費	20,686,110	20,806,353	△ 120,243	26.1
補助金	4,385,147	4,335,902	49,245	5.4	管理経費	2,993,291	3,646,746	△ 653,455	4.6
国庫補助金収入	3,280,254	3,196,337	83,917	4.0	借入金等利息	48,240	48,245	△ 5	0.1
地方公共団体補助金収入	1,104,893	1,139,565	△ 34,672	1.4	資産処分差額	197,547	173,525	24,022	0.2
その他の補助金収入	0	0	0	0.0	徴収不能引当金繰入額	227,160	98,304	128,856	0.1
帰属収入合計	582,055	599,390	△ 17,335	0.7	予備費	101,000	0	101,000	0.0
資産売却差額	2,016	4,136	△ 2,120	0.0					
事業収入	485,270	521,932	△ 36,662	0.7					
医療収入	54,281,990	53,591,159	690,831	66.9					
雑収入	244,693	632,550	△ 387,857	0.8					
帰属収入合計	80,155,074	80,063,401	91,673	100.0	消費支出の部 合計	80,547,959	79,838,215	709,744	100.0
基本金組入額合計	△ 5,289,957	△ 4,840,546	△ 449,411	△ 6.0	当年消費支出超過額	△ 5,682,842	△ 4,615,360	△ 1,067,482	
消費収入の部 合計	74,865,117	75,222,855	△ 357,738	94.0	前年度繰越消費支出超過額	△ 78,113,267	△ 75,789,793	△ 2,323,504	
					基本金取崩額	0	0	0	
					翌年度繰越消費支出超過額	△ 83,796,129	△ 80,405,143	△ 3,390,986	

平成20年度 消費収支決算 科目別構成 (図表1)



次頁につづく ▶

### ◆ 主要な用語について

- **帰属収入**: 当該年度に純粋に帰属する収入との意味で、資金収支計算書にある他人資金の借入金や次年度分の授業料等の前受金などは計上されない。
- **学生生徒等納付金**: 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等。
- **手数料**: 入学検定料、証明手数料等
- **補助金**: 国や地方公共団体の他、日本国際教育協会からの援助金収入。
- **雑収入**: 退職金財団からの交付金を含む。
- **基本金組入額**: 学校会計では、帰属収入からまず、学校の基礎となる資産と資金、将来計画のための資金、基金として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目を基本金として帰属収入から確保し、残りを消費支出として運営に充てるように規定している。
- **消費支出**: 当該年度において消費される人件費、経費等と資金の移動を伴わない退職給与引当金繰入額、減価償却額が計上される。
- **人件費**: 専任の教員、職員及び非常勤の教員、アルバイト、パートの職員に係わる給与、賞与、各

種手当、並びに健康保険、労働保険などの大学負担分(所定福利費)と、退職給与引当金繰入額の総額。

- **教育研究経費**: 教育研究に直接要する経費のほか、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験を実施するための経費、これらの諸活動を行う施設設備を維持するための経費、その施設設備に係わる減価償却額が計上される。
- **管理経費**: 大学を運営する総務、人事、経理及び対外的な広報活動に要する経費、教育研究に当たらない事業に要する経費、これらの諸活動を行う施設設備を維持するための経費、それに係る減価償却額が計上される。
- **消費収支差額**: 帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入と、消費支出の合計の差。消費収支差額が支出超過の場合、学校会計では基本金という独自の考え方があり一概に赤字経営と決めつけることはできないが、収支のバランスを欠いているということはいえる。

# 学校法人 獨協学園の平成20年度決算と平成21年度予算について

## (3) 資金収支(表2)

資金収入では、学生生徒等納付金、手数料並びに退職金財団交付金等雑収入が増加したものの、医療収入は予算比減少し、資金収入の合計は約994億54百万円となり予算に比し約2億39百万円の減少となりました。

なお、借入金等収入には獨協大学での設備投資資金12億円の新規借入れを計上しています。資金支出では、施設設備関係支出は予算比下回ったものの管理経費増加等により、資金支出の合計は1,011億59百万円と予算比約11億22百万円の支出増加となりました。次年度繰越金は約160億89百万円と予算に対し約27億22百万円の上回りとなりました。

学園全体の金融資産残高は約344億36百万円で前年度対比約11億8百万円の減少となりました。外部借入金は40億円で前年度末に比べ約4億48百万円増加しました。

平成20年度資金収支計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(表2)

(単位:千円 端末未調整)

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	差異	科目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	18,182,559	18,250,630	△ 68,071	人件費支出	37,217,742	36,738,571	479,171
手数料収入	716,974	845,987	△ 129,013	教育研究経費支出	34,103,947	33,547,564	556,383
寄附金収入	1,215,700	1,202,398	13,302	医療経費	20,686,110	20,841,137	△ 155,027
補助金収入	4,385,147	4,335,902	49,245	管理経費支出	2,659,513	3,314,534	△ 655,021
国庫補助金収入	3,280,254	3,196,337	83,917	借入金等利息支出	48,240	48,245	△ 5
地方交付税補助金収入	1,104,893	1,139,565	△ 34,672	借入金等返済支出	712,000	712,000	0
その他の補助金収入	0	0	0	施設関係支出	5,557,796	5,094,201	463,595
資産運用収入	582,055	599,390	△ 17,335	設備関係支出	2,162,373	1,950,809	211,564
資産売却収入	907,032	1,058,093	△ 151,061	資産運用支出	17,933,502	17,929,274	4,228
事業収入	485,270	521,932	△ 36,662	その他の支出	8,454,087	9,404,438	△ 950,351
医療収入	54,281,990	53,591,159	690,831	予備費	101,000	0	101,000
雑収入	244,693	634,546	△ 389,853	資金支出調整勘定	△ 6,668,258	△ 7,579,928	911,670
借入金等収入	1,200,000	1,200,000	0				
前受金収入	4,022,300	4,264,133	△ 241,833				
その他の収入	26,629,915	26,762,092	△ 132,177				
資金収入調整勘定	△ 13,160,280	△ 13,812,105	651,825				
当年度収入合計	99,693,355	99,454,157	239,198	当年度支出合計	102,281,942	101,159,707	1,122,235
前年度繰越支払資金	15,955,149	17,794,113	△ 1,838,964	次年度繰越支払資金	13,366,562	16,088,563	△ 2,722,001
収入の部合計	115,648,504	117,248,270	△ 1,599,766	支出の部合計	115,648,504	117,248,270	△ 1,599,766

## 貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

(表3)

(単位:千円 端末未調整)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	124,271,605	122,141,891	2,129,714	固定負債	22,076,784	21,080,558	996,226
(有形固定資産)	105,675,423	104,175,855	1,499,568	長期借入金	3,288,000	2,800,000	488,000
土地	25,752,740	25,752,660	80	長期未払金	41,491	22,797	18,695
建物	58,000,387	58,394,128	△ 393,741	退職給与引当金	18,747,292	18,257,761	489,531
構築物	3,020,608	3,240,701	△ 220,093				
教育研究用機器備品	7,251,746	7,545,977	△ 294,231	流動負債	12,867,086	13,147,874	△ 280,788
その他の機器備品	133,444	149,025	△ 15,580	返済期限が1年以内の長期借入金	712,000	712,000	0
図書	8,859,547	8,737,602	121,945	手形債務	0	0	0
車輛	45,519	33,688	11,832	未払金	6,652,363	7,098,868	△ 446,505
建設仮勘定	2,611,431	322,075	2,289,356	前受金	4,264,133	4,211,305	52,828
(その他の固定資産)	18,596,182	17,966,036	630,146	預り金	1,083,847	996,894	86,953
借入金	12,558	12,558	0	修学旅行費預り金	82,565	78,000	4,565
電話加入権	18,626	18,626	0	仮受金	72,178	50,806	21,372
施設利用権	11,272	12,481	△ 1,209				
温泉利用権	4,000	4,000	0				
建物等賃貸借借入金保証金	133,806	133,806	0	負債の部合計	34,943,869	34,228,432	715,438
長期貸付金	432	1,230	△ 798				
奨学貸付金	309,372	273,891	35,481				
有価証券	409,711	1,093,568	△ 683,857				
学部増設等引当特定資産	646,732	374,372	272,360				
学術研究引当特定資産	1,000,000	1,000,000	0	基本金の部			
退職給与引当特定資産	7,854,004	7,654,004	200,000	科目	本年度末	前年度末	増減
減価償却引当特定資産	2,810,000	2,110,000	700,000	第1号基本金	187,455,539	182,964,893	4,490,646
2号基本金引当特定資産	0	0	0	第2号基本金	0	0	0
3号基本金引当特定資産	4,050,000	3,950,000	100,000	第3号基本金	4,050,000	3,950,000	100,000
その他の引当特定資産	1,315,670	1,307,500	8,170	第4号基本金	5,893,400	5,643,500	249,900
長期預け金	20,000	20,000	0	基本金の部合計	197,398,939	192,558,393	4,840,546
徴収不能引当金	0	0	0				
流動資産	27,666,060	28,855,150	△ 1,189,091	消費収支差額の部			
現金預金	16,088,563	17,794,113	△ 1,705,550	科目	本年度末	前年度末	増減
有価証券	261,619	260,765	854	翌年度繰越消費支出超過額	△ 80,405,143	△ 75,789,783	△ 4,615,360
未収入金	9,948,132	9,582,492	365,640	消費支出超過額の部合計	△ 80,405,143	△ 75,789,783	△ 4,615,360
貯蔵品	411,058	380,867	30,191				
前払金	957,800	931,727	26,073	科目	本年度末	前年度末	増減
仮払金	183,457	123,511	59,946	負債の部、基本金の部			
徴収不能引当金	△ 184,570	△ 218,325	33,756	及び消費収支差額の部合計	151,937,666	150,997,042	940,624
資産の部合計	151,937,665	150,997,042	940,623				

注記

- 減価償却額の累計額の合計額 83,490,906千円
- 重要な会計方針の変更等 20年度における変更はない。
- 担保に供されている資産の種類及び額  
 土地 3,550,023千円  
 建物 20,634,839千円  
 計 24,184,862千円
- 徴収不能引当金の合計額 184,570千円
- 翌会計年度以降の会計年度において基本金の組入を行うこととなる金額 2,735,885千円
- 退職給与引当金の額の算定方式は、次のとおりである。  
 教員・職員の退職金支出に備えるため退職金の期末要支給額の100%を基にして私学退職金団体に對する掛け金と交付金等を調整加減した金額を計上している。
- 有価証券の時価情報  
 保有額 9,817,948千円  
 時価 9,911,813千円  
 評価益 93,866千円
- 偶発事象、リース資産に関する注記等は省略します。



## 2. 平成21年度事業計画と予算について

### (1) 事業計画概要

獨協学園は、明治のはじめドイツ文化を中心とする西欧文化の粋を摂取して、わが国文教の興隆をはかる目的で設立された獨逸学協会(明治14年、1881年)にその端を発しています。その後、獨逸学協会が設立され、獨協中学高等学校の母体となりました。以降、獨協大学、獨協医科大学、姫路獨協大学、獨協埼玉中学高等学校を設立するとともに、獨協医科大学は附属の3病院と看護専門学校を有しています。

獨協学園では、平成10年以降、中長期計画として基本計画を策定し、2年毎にこれを見直し、私立学校を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中において、時代的、社会的ニーズに応じていくため、それぞれの学校の自主性を活かしながら、特色ある学校経営を進めております。

平成21年度は国際金融不安に端を発した未曾有の不況急激な内外の環境変化に適切に対応するため、少子化に即応した定員確保対策、新学部の学年進行に伴う更なる教育内容の充実、医療収支の改善、安全かつ効率的な資産運用等の諸課題に鋭意取り組んでまいります。

更に、平成21年度は基本計画(第5次見直し)の初年度にあたり、平成22年度申請の大学基準協会による認証評価はじめ諸課題について、基本計画策定委員会により策定された計画を基に学園並びに各校あげて推進するとともに、引き続き学園の今後の基本的方向等について検討します。

平成21年度の各学校の事業計画概要は次のとおりです。

獨協大学は、従来から取り組んできた教育・研究インフラの整備計画に基づき、平成21年4月開設の外国語学部交流文化学科の支援並びに前年度に引き続き「さくら橋総合教育施設」、「東側新教室棟」建設等のキャンパス再編事業を進めます。

獨協医科大学は、教育・研究・診療の充実とともに人件費と医療費の徹底した見直し等財政基盤の確立を図ります。一方、平成19年11月設置の内部監査室、不正防止計画推進室等を通じたコンプライアンスの向上に努めます。施設面では前年度に引き続き大学病院の外来棟リフォーム工事等を実施します。

姫路獨協大学は、平成18年度に作成した「姫路獨協大学リバイバルプラン」を推進することにより教育力の向上等教学の改革を図るとともに、新たに「姫路獨協大学経営会議」を設置し、直面する諸課題に対する抜本的な方策を検討し経営改善を図ります。

獨協中学・高等学校は、新たに授業評価を導入するとともに、前年度実施した外部評価アンケート結果を基に中長期的なビジョンの検討・構築を進めます。

獨協埼玉中学高等学校では、進路別に対応したカリキュラム編成、生徒による授業評価等従来からの改革に加え、新たに学校評価の導入等教学面の充実を図ります。

学園本部は、各学校の事業計画を連携して進めてまいります。

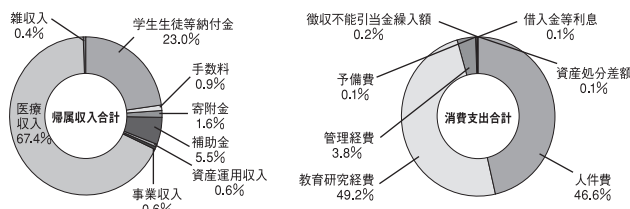
### (2) 消費収支(表4 図表2)

帰属収入は820億6百万円で前年度予算対比18億51百万円増加します。うち、医療収入が9億76百万円、学生生徒納付金は7億円、補助金全体で約1億64百万円の増加となっています。一方、資産運用収入で50百万円の減少を見込んでいます。消費支出合計は817億44百万円で前年度予算対比11億96百万円増加します。うち、医療収入の増加に伴う医療経費の増加は6億53百万円を見込んでいます。また、人件費が3億72百万円増加します。これは、3大学の新学部関係での増員、医大における看護師確保などが主要因となっております。

基本金組入額は前年度の52億90百万円に対し、53億35百万円と2億45百万円の増加となります。消費収支差額は前年度の56億83百万円から、52億72百万円の支出超過に縮小する見込みです。

また、帰属収支差額は前年度予算3億93百万円の支出超過から2億62百万円の収入超過となります。姫路獨協大学で、既存学部の入学者減少と平成18年度、平成19年度にそれぞれ設置した医療保健学部、薬学部に係る施設、設備、人件費等の先行投資により大きな支出超過となっているものの、獨協医科大学での医療収入の増加、獨協大学での学納金増加等収入増により支出を吸収しています。

平成21年度消費収支予算科目別構成(図表2)



### 平成21年度消費収支予算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(表4)

科目	収入の部			支出の部			
	平成21年度 予算額	平成20年度 予算額	増減	科目	平成21年度 予算額	平成20年度 予算額	増減
学生生徒等納付金	18,883,032	18,182,559	700,473	人件費	38,085,793	37,713,826	371,967
手数料	699,963	716,974	△17,011	教育研究経費	40,180,350	39,266,875	913,475
寄附金	1,278,370	1,274,370	4,000	医療経費	21,339,130	20,686,110	653,020
補助金	4,549,270	4,385,147	164,123	管理経費	3,125,544	2,993,291	132,253
国庫補助金	3,289,807	3,280,254	9,553	借入金等利息	66,527	48,240	18,287
地方公共団体補助金	1,259,463	1,104,893	154,570	資産処分差額	51,256	197,547	△146,291
その他の補助金	0	0	0	徴収不能引当金繰入額	133,650	227,180	△93,530
資産運用収入	532,260	582,055	△49,795	予備費	101,000	101,000	0
資産売却差額	82	2,016	△1,934				
事業収入	464,800	485,270	△20,470				
医療収入	55,258,520	54,281,990	976,530				
雑収入	340,034	244,693	95,341				
帰属収入合計	82,006,331	80,155,074	1,851,257				
基本金組入額合計	△5,534,691	△5,289,957	△244,734				
消費収入の部 合計	76,471,640	74,865,117	1,606,523	消費支出の部 合計	81,744,120	80,547,959	1,196,161
				当年度消費支出超過額	△5,272,480	△5,682,842	410,362

### 平成21年度資金収支予算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(表5)

科目	収入の部			支出の部			
	平成21年度 予算額	平成20年度 予算額	増減	科目	平成21年度 予算額	平成20年度 予算額	増減
学生生徒等納付金収入	18,883,032	18,182,559	700,473	人件費支出	37,461,112	37,217,742	243,370
手数料収入	699,963	716,974	△17,011	教育研究経費支出	34,827,914	34,103,947	723,967
寄附金収入	1,219,700	1,215,700	4,000	医療経費	21,339,130	20,686,110	653,020
補助金収入	4,549,270	4,385,147	164,123	管理経費支出	2,716,848	2,659,513	57,335
国庫補助金	3,289,807	3,280,254	9,553	借入金等利息支出	66,527	48,240	18,287
地方公共団体補助金	1,259,463	1,104,893	154,570	借入金等返済支出	3,612,000	712,000	2,900,000
その他の補助金	0	0	0	施設関係支出	5,835,742	5,557,796	277,946
資産運用収入	532,260	582,055	△49,795	設備関係支出	3,312,999	2,162,373	1,150,626
資産売却収入	300,500	907,032	△606,532	資産運用支出	18,821,220	17,933,502	887,718
事業収入	464,800	485,270	△20,470	その他の支出	7,803,955	8,454,087	△650,132
医療収入	55,258,520	54,281,990	976,530	予備費	101,000	101,000	0
雑収入	340,034	244,693	95,341	資金支出調整勘定	△8,025,635	△6,668,258	△1,357,377
借入金等収入	4,200,000	1,200,000	3,000,000				
前受金収入	4,133,775	4,022,300	111,475				
その他の収入	27,937,127	26,629,915	1,307,212				
資金収入調整勘定	△13,407,415	△13,160,280	△247,135				
当年度収入合計	105,111,566	99,693,355	5,418,211	当年度支出合計	106,533,682	102,281,942	4,251,740
前年度繰越支払資金	14,184,995	15,955,149	△1,770,154	次年度繰越支払資金	12,762,880	13,366,562	△603,683
収入の部 合計	119,296,561	115,648,504	3,648,057	支出の部 合計	119,296,561	115,648,504	3,648,057

注:学園全体の20年度決算、事業報告、21年度予算、事業計画についての詳細は、下記の獨協学園のホームページをご覧ください。各学校のホームページからもリンクしております。

<http://www.dac.ac.jp/finance/index.html>

# 姫路獨協大学の平成20年度決算と平成21年度予算について

## 1. 平成20年度決算について

### (1) 消費収支(表6)

平成20年度の帰属収入は、予算対比53百万円減の39億19百万円となりました。これは、学生生徒等納付金、入学検定料等の手数料及び国庫補助金の減が主な要因となっています。  
 基本金の組み入れは、薬学部の学年進行に伴う施設・設備、講義棟の空調設備、防災監視装置などの整備により2億93百万円となりました。これにより、帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入は、予算対比93百万円増の36億26百万円となりました。  
 一方、消費支出は、予算対比2億47百万円減の47億51百万円となりました。これは、人件費の大幅な削減と、教育研究経費の抑制によるものです。この結果、消費収支差額が11億25百万円の支出超過となり、平成21年度への繰越消費支出超過額は48億40百万円となります。

### (2) 資金収支(表7)

次年度繰越金は24億43百万円となり、予算対比では4億40百万円の増加、平成19年度末の繰越金からは、7億5千万円減となりました。  
 この結果、金融資産残高は、43億81百万円となり、平成19年度対比10億33百万円減少しました。

## 2. 平成21年度予算について

### (1) 消費収支(表8)

帰属収入については41億20百万円で、平成20年度予算比で1億48百万円増になります。これは医療保健学部及び薬学部の学年進行に伴う、在籍者数の増加が主な要因です。基本金の組み入れは、平成20年度に薬学部の教育研究機器の整備が完了したことに伴い、平成20年度に比べ3億60百万円減となり、80百万円となります。帰属収入からこの基本金組入額を控除した消費収入は、平成20年度年度予算対比で5億7百万円増の40億40百万円となります。  
 一方、消費支出については、教育研究費の増加が見込まれますが、人件費の削減及び管理経費の抑制を進めることにより、平成20年度予算対比で79百万円減の49億19百万円となります。この結果、消費収支差額は8億79百万円の支出超過となる見込みです。

### (2) 資金収支(表9)

施設設備資金は創立20周年記念ホール(仮称)設置などの計画があることから、80百万円となります。金融資産残高は、42億10百万円で、平成20年度決算より1億71百万円減少する見込みです。

(表6) 平成20年度 消費収支内訳表  
(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

収入の部				支出の部			
科目	平成20年度 予算額(A)	平成20年度 決算額(B)	増減 (A-B)	科目	平成20年度 予算額(A)	平成20年度 決算額(B)	増減 (A-B)
学生生徒等納付金	3,336,740	3,302,536	84.3%	人件費	2,957,214	2,788,097	58.7%
手数料	80,724	51,617	1.3%	教育研究経費	1,671,381	1,604,389	33.8%
寄附金	10,000	23,055	0.6%	管理経費	282,596	296,987	6.3%
補助金	448,997	391,501	10.0%	法人負担金	55,000	55,128	1.2%
国庫補助金	448,754	390,530	10.0%	借入金等利息	0	0	0.0%
地方公共団体補助金	243	971	0.0%	資産処分差額	12,221	6,106	0.1%
その他の補助金	0	0	0.0%	(予備費)	20,000	0	0.0%
資産運用収入	47,985	55,572	1.4%				
資産売却差額	0	50	0.0%				
事業収入	8,130	26,744	0.7%				
雑収入	39,630	15,026	0.4%				
法人負担金収入	0	52,840	1.3%				
帰属収入合計	3,972,206	3,918,941	100%	消費支出の部合計	4,998,412	4,750,707	100%
基本金組入額合計	△ 439,085	△ 293,332	△ 145,753	当年度消費支出超過額	△ 1,465,291	△ 1,125,098	
消費収入の部合計	3,533,121	3,625,609	△ 92,488	前年度繰越消費支出超過額	△ 4,077,971	△ 3,714,693	
				翌年度繰越消費支出超過額	△ 5,543,262	△ 4,839,791	

(表8) 平成21年度 消費収支予算内訳表  
(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

収入の部				支出の部			
科目	平成21年度 予算額(A)	平成20年度 予算額(B)	増減 (A-B)	科目	平成21年度 予算額(A)	平成20年度 予算額(B)	増減 (A-B)
学生生徒等納付金	3,473,804	3,336,740	84.3%	人件費	2,847,386	2,957,214	△ 109,828
手数料	62,183	80,724	1.5%	教育研究経費	1,714,815	1,671,381	43,434
寄附金	30,000	10,000	0.7%	管理経費	281,859	282,596	△ 737
補助金	491,546	448,997	11.9%	法人負担金	55,120	55,000	120
国庫補助金	491,313	448,754	11.9%	借入金等利息	0	0	0
地方公共団体補助金	233	243	△ 10	資産処分差額	0	12,221	△ 12,221
その他の補助金	0	0	0.0%	(予備費)	20,000	20,000	0
資産運用収入	30,220	47,985	0.7%				
資産売却差額	0	0	0.0%				
事業収入	16,760	8,130	8,630				
雑収入	15,262	39,630	△ 24,368				
法人負担金収入	0	0	0.0%				
帰属収入合計	4,119,775	3,972,206	147,569	消費支出の部合計	4,919,180	4,998,412	△ 79,232
基本金組入額合計	△ 79,558	△ 439,085	359,527	当年度消費支出超過額	△ 878,963	△ 1,465,291	586,328
消費収入の部合計	4,040,217	3,533,121	507,096				

(表7) 平成20年度 資金収支内訳表  
(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

収入の部				支出の部			
科目	平成20年度 予算額(A)	平成20年度 決算額(B)	増減 (A-B)	科目	平成20年度 予算額(A)	平成20年度 決算額(B)	増減 (A-B)
学生生徒等納付金収入	3,336,740	3,302,536	34,204	人件費支出	2,965,066	2,767,887	197,179
手数料収入	80,724	51,617	29,107	教育研究経費支出	1,052,029	968,672	83,357
寄附金収入	10,000	16,308	△ 6,308	管理経費支出	253,270	268,038	△ 14,768
補助金収入	448,997	391,501	57,496	法人負担金	55,000	55,128	△ 128
国庫補助金収入	448,754	390,530	58,224	借入金等利息支出	0	0	0
地方公共団体補助金収入	243	971	△ 728	借入金等返済支出	0	0	0
その他の補助金収入	0	0	0	施設関係支出	72,756	65,186	7,570
資産運用収入	47,985	55,572	△ 7,587	設備関係支出	361,265	273,210	88,055
資産売却収入	0	100,093	△ 100,093	資産運用支出	1,834,162	1,817,128	17,034
事業収入	8,130	26,744	△ 18,614	その他の支出	960,670	963,018	△ 2,348
雑収入	39,630	15,026	24,604	(予備費)	20,000	0	20,000
法人負担金収入	0	52,840	△ 52,840	資金支出調整勘定	△ 127,098	△ 104,049	△ 23,049
借入金等収入	0	0	0				
前受金収入	721,850	657,783	64,067				
その他の収入	2,561,980	2,447,013	114,967				
資金収入調整勘定	△ 758,480	△ 748,264	△ 10,216	次年度繰越支払資金	2,003,773	2,443,418	△ 439,645
前年度繰越支払資金	2,953,337	3,148,867	△ 195,530				
収入の部合計	9,450,893	9,517,636	△ 66,743	支出の部合計	9,450,893	9,517,636	△ 66,743

(表9) 平成21年度 資金収支予算内訳表  
(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

収入の部				支出の部			
科目	平成21年度 予算額(A)	平成20年度 予算額(B)	増減 (A-B)	科目	平成21年度 予算額(A)	平成20年度 予算額(B)	増減 (A-B)
学生生徒等納付金収入	3,473,804	3,336,740	137,064	人件費支出	2,829,684	2,965,066	△ 135,382
手数料収入	62,183	80,724	△ 18,541	教育研究経費支出	1,052,729	1,052,029	700
寄附金収入	30,000	10,000	20,000	管理経費支出	253,445	253,270	175
補助金収入	491,546	448,997	42,549	法人負担金	55,120	55,000	120
国庫補助金収入	491,313	448,754	42,559	借入金等利息支出	0	0	0
地方公共団体補助金収入	233	243	△ 10	借入金等返済支出	0	0	0
その他の補助金収入	0	0	0	施設関係支出	57,572	72,756	△ 15,184
資産運用収入	30,220	47,985	△ 17,765	設備関係支出	21,986	361,265	△ 339,279
資産売却収入	0	0	0	資産運用支出	1,823,710	1,834,162	△ 10,452
事業収入	16,760	8,130	8,630	その他の支出	165,553	960,670	△ 795,117
雑収入	15,262	39,630	△ 24,368	(予備費)	20,000	20,000	0
法人負担金収入	0	0	0	資金支出調整勘定	△ 98,464	△ 127,098	28,634
借入金等収入	0	0	0				
前受金収入	691,750	721,850	△ 30,100				
その他の収入	1,938,743	2,561,980	△ 623,237				
資金収入調整勘定	△ 697,012	△ 758,480	61,468				
前年度繰越支払資金	2,413,324	2,953,337	△ 540,013	次年度繰越支払資金	2,285,245	2,003,773	281,472
収入の部合計	8,466,580	9,450,893	△ 984,313	支出の部合計	8,466,580	9,450,893	△ 984,313

## 平成21年度事業計画の概要

### 1. 主要な方針・施策

本学の財政状況は厳しい状況ではありますが、高等教育機関として相応しい教育水準を維持することに努めることが大学の使命であり、また社会的責務であると考えております。

このため、平成21年度予算編成にあたっては、収入の増対策として引き続き、学生の教育活動と募集活動に関する施策に重点を置きつつ、次の二点を念頭においた予算編成を行いました。

まず第一に、3年前に採択された「姫路獨協大学リバイバルプラン」の実行を加速させ、「教育力」の向上と学生と社会の信頼を高めながら、魅力ある大学づくりに努めます。

第二として、「生き残り」をかけた経営改善が喫緊の課題であります。特に収入の増対策と経費の節減、予算の効率的な執行により一層努めてまいります。

なお、本学が直面する経営上の諸問題に対処し、将来にわたって安定的な経営基盤を構築するため、『姫路獨協大学経営会議』を設け、教職員が一丸となって全学的な観点から本学の経営改善に向けた抜本的な方策を検討します。

### 2. 主要な事業概要

#### 1) 外国語学部関連

- 平成20年4月から1学科(外国語学科)2専攻(外国語専攻、日本語専攻)からなる新学部として改組し、「英語・もう一つの外国語・日本語」を教育の三本柱としました。
- 今後は、「グローバル化」に対応する英語能力養成を基礎としたマルチ・リンガルを目指し、留学生との「多文化共生」の実践的教育や、日本語教員を養成します。また、1年次から海外における異文化体験研修を実施し、コミュニケーション能力の高い、社会から求められる人材を育成します。
- 学生支援に意を注ぎ、教員と学生相互の一体感を強め、外国語学部の新しい伝統を培って行きます。
- 交換留学(平成21年度予定:ドイツ1人、オーストラリア2人、中国3人、韓国4人)を、さらに充実させます。

#### 2) 法学部関連

- 1年次から4年次まで、一貫して少人数制の授業を受けられる体制を維持・発展させ、法学・政治学について専門的に学ぶなかで、社会人として活躍できる思考能力、コミュニケーション能力を養成します。
- 「法学検定試験」などの検定試験を通じた達成感のある基礎教育を充実させます。
- 警察官志望者に対する指導を充実させ、高い採用試験合格率を維持します。
- 法科大学院入学試験、市役所などの公務員採用試験の合格者を1人でも多く輩出すべく個別指導を充実させます。
- 「全員就職を決めて卒業させる」という目的のもと、1年次から4年次までゼミに所属させ、各教員が学生を個別にケアし、学習・就職活動を支援する体制を充実させます。

#### 3) 経済情報学部関連

- 平成21年4月から新カリキュラムでスタートします。その目的は、従来の講義科目の見直し(スリム化も含めた)と少人数教育の徹底にあります。4年次の卒業論文に関しては、全員に中間報告会(9月)を行い、さらなる充実を図ります。
- 「会計工房」、「メディア工房」、「経済学検定対策講座」をさらに充実させ、学生の資格取得に積極的に取り組みます。また、基礎学力としての「数学検定」において、平成20年度は合格率が評価され、大学・短大部門で「文部科学大臣賞」を受賞しました。

これをスタートラインとし、新入生を対象にした「基礎数学力」をさらに充実させます。

- 1年次の入門演習(担任制)から4年次までの一貫したゼミを通して、学生の人間力の向上を図り、就職する意欲をさらに高めます。

#### 4) 医療保健学部関連

- 学年進行の最終年を迎え、各学科とも、演習や実習等専門分野のカリキュラムが充実します。特に臨床評価実習等の実施により、臨床経験を積み重ねながら、専門的な知識の充実と実践的なスキルの向上を養います。
- 福祉や保健など、幅広い分野での知識を兼ね備え、他の医療従事者と協力して、病めるヒトのニーズに的確に対応できる能力を養成します。

#### 5) 薬学部関連

- 学部の特徴を活かした総合的教育の充実と、学年進行に伴う、年次計画に沿った施設・設備及び薬草園の整備・充実を行います。
- 学年進行3年目をむかえ、薬学の基礎である「化学系」、「物理系」、「生物系」、「衛生系」に加えて専門的分野の「医療系」、「臨床系」の講義、実習が本格的になります。そのため、午前は講義、午後は実習という薬学教育の基本パターンを本格的に展開します。
- 4年次に全国的に行う予定のCBTとOSCEを想定して、CBTに対しては昨年より開始しているeラーニングを充実させ、OSCEに対してはトライアルを実施します。OSCE トライアルについては評価者等の人材確保が重要ですから、準備に万全を図ります。また、国家試験対策も具体的に始動させ、模擬試験、eラーニングによる繰り返し学習を実施します。

#### 6) 各大学院研究科関連

- 各研究科において、社会のニーズに十分応えられるよう教育課程を再編します。
- 言語教育研究科においては、国語教育コースと日本語教育コースを統合するとともに、教職課程の授業科目を充実させます。
- 法学研究科においては、授業科目を整理し、現在ある5講座を3講座に統合します。
- 経済情報研究科においては、4コースを1コースに統合し、新たに推奨履修モデルを示し、カリキュラムが学生の将来設計により適合するように改正します。
- 社会人学生の比率が高くなっていることから、駅前サテライトの利用を一層充実させ、社会人学生が仕事と研究を一層両立しやすくなるよう学習環境の整備を図ります。

#### 7) 法務研究科関連

- 法務研究科では、各院生に対し、研究者教員と実務家教員の各1人を担任とすることにより、院生に対し、きめ細かい指導を行っております。
- 平成21年度より入学定員を30人(従前は40人)に変更したことを機会に、より小規模校の長所である、きめ細かい指導にあたることともに、地域に寄与する法曹を育てるべく、今後とも充実・発展に努めます。

3. 主要な施設・設備計画の概要

- 1) 薬学部の学年進行に伴う教育・実習及び研究活動の充実のため、年次計画により薬草園を整備します。
- 2) 生涯教育等の中核施設として、「創立20周年記念ホール」等の施設整備を行います。
- 3) 開学以来の経年劣化により、講義棟用備品の取替更新等を行います。
- 4) 資産図書を購入し、図書館の充実を行います。

単位:百万円

事業名	事業内容	21年度予算
<b>1 教学関係</b>		
1) シラバスを活用した効果的な履修登録支援	1) 従来のwebを利用した履修登録システムに、シラバスを掲載することによって、さらに学生の履修登録の効率化と教員による効果的な履修指導を実現する。	3
2) TOEICによる習熟度別少数人数制クラスと英語学習の進捗状況の確認	2) TOEICのスコアをもとに英語能力の習熟度別クラスを編成することによって、学生の学習意欲を高める。また、入学後の英語能力の推移をカリキュラム評価に活用する。	3
3) 薬学部早期体験学習	3) 医療施設や製薬企業等の現場での実体験を通じて、“生命の尊厳”や患者の気持ちに配慮する思いやりなど、薬剤師として身につけるべき豊かな人間性を涵養する。	3
4) 医療保健学部学外実習	4) 開設4年目である完成年度を迎え、4年次生は1～3年次に学習した知識・技術、態度を総動員して、実際の現場において検証する。	58
<b>2 地域関係</b>		
1) 姫路市政策研究助成事業への申請支援	1) 官学連携のまちづくりを推進する姫路市の政策に、本学の持つ知的資源や学生の力を活用できるよう支援を行う。	1
2) 駅前サテライト教室	2) 市民を対象とした公開講座を開催するほか、大学院の授業、就職活動の拠点としても活用する。	10
3) 公開講座(語学講座、キッズ英会話教室)の開催	3) 外国語の習得を推進し、国際社会に貢献しようとする人材の育成を支援する。	5
<b>3 管理・運営関係</b>		
1) 寄附金募集	1) 創立20周年記念事業として、企業、学校関係者を対象に寄附金を募集し、教育設備の充実、地域貢献を柱とした事業を行う。	—
2) マスコットキャラクターによる広報戦略	2) マスコットキャラクターによる広報戦略を行い、大学案内等を全面的にリニューアルする。	92
<b>4 施設関係</b>		
1) 薬学部薬草園整備	1) 開設前年度から年次計画で整備してきた薬草園の最終整備を実施する。	7
2) 創立20周年記念事業	2) 講義棟3階303D教室を改修し、創立20周年記念ホールを設置する。	50
<b>5 設備関係</b>		
1) 講義棟用備品	1) 経年劣化による取替更新を行う。	6
2) 図書	2) 資産図書を購入し、図書館の充実を図る。	16